



100

あなただけの
100%の愛を
こぼす。

▼初めましてorお久しぶりです。江森です。
いや～、なんかまた誤魔化しのまやかして
行き当たりバッタリの本になってしまいました。

最初に謝っておきます。すみません。

▼その分、お値段お安めの100円で今回ご提供。
タイトルは↓いろんな(I)おんなの子の(O)お絵かき(O)。
100(≠100)。

▼江森のへたれっぷりはさて置き、
もし楽しんで頂けることがあるとすれば、
それは多分奇跡…ゲフッゲフッ

2002 夏 江森美沙樹

いろんな
おんなの子
お絵かき。

いっしょ
おんあいの
お絵かき。

▼オーソドックスなパンチラ（というより、パンモロ）構図。
私今までこんな格好をした女人を目の前で見たことはありません。
雑誌とかインターネットのエロサイトではよく見かける
ポーズですね。もし現実こんな格好で話し掛けてきたら、
なにか良からぬ事を考えているのではないかと、
疑ってしまいそうになる自分であります。



▼ちなみに実はコレ、某トレカの没アイデアの再利用って事は、
君と僕の二人だけの秘密って事で…



▼今年の夏の本（つまりはこの本）は
ラグナロクの萌えイラストと
いやらし漫画満載の予定だった
はずなのに…

▼このイラスト（右）は
ちらけ用のカット。
何気に描いた
めがね狐っ娘（左）と
ポーズがまんま
一緒なのは
今気が付きました。
人それを己の限界と呼ぶ。

ろしお
おんあふ
おねだき。

いとしな
おんなの
お乳がさ。

▼女人の体はむずいですね～。
肉の重みとか柔らかさとかが
表現できるように
なりたいもんです。
別に巨乳マンセー！
という訳ではないですが、
乳を揉みしだく絵は
相変わらず不得意ッス。
一時期は「時代はロリや～、
無いペタを極めるんや～」
なんて事を思っていました、
ある日ふと、
それは逃避ではないのか？
と思い至り、
乳絵にもこれから
どんどん挑戦しなきゃ
いけないな～と思った次第であります。
江森 2002 年夏、
新たなる誓いってやつッス、
てひひ。



▼このページはコアマガジンさんから好評発売中の単行本のラフ絵等。
もう一年経ちますね～。
困ったもんです（何が？）

▼この頃（単行本中身）の絵は江川達也っぽいとか人に言われた事ありますが、
今見るとそうでもないような気がします。
確かに見ながら描いてはいましたが（爆



▼描いている当時はエロ度が足りないと思っと思ってましたし、今も思っているのですが、会社に入ってから知り合いに見せると、エロいですね～と言われる。
エロいのか？俺がエロいのか？
まあ、エロいんですけど…
ちょっとだけ「そんな目で俺を見るなあ～」と
思ってみたりみなかったり…
いえ、思うんですけどね…

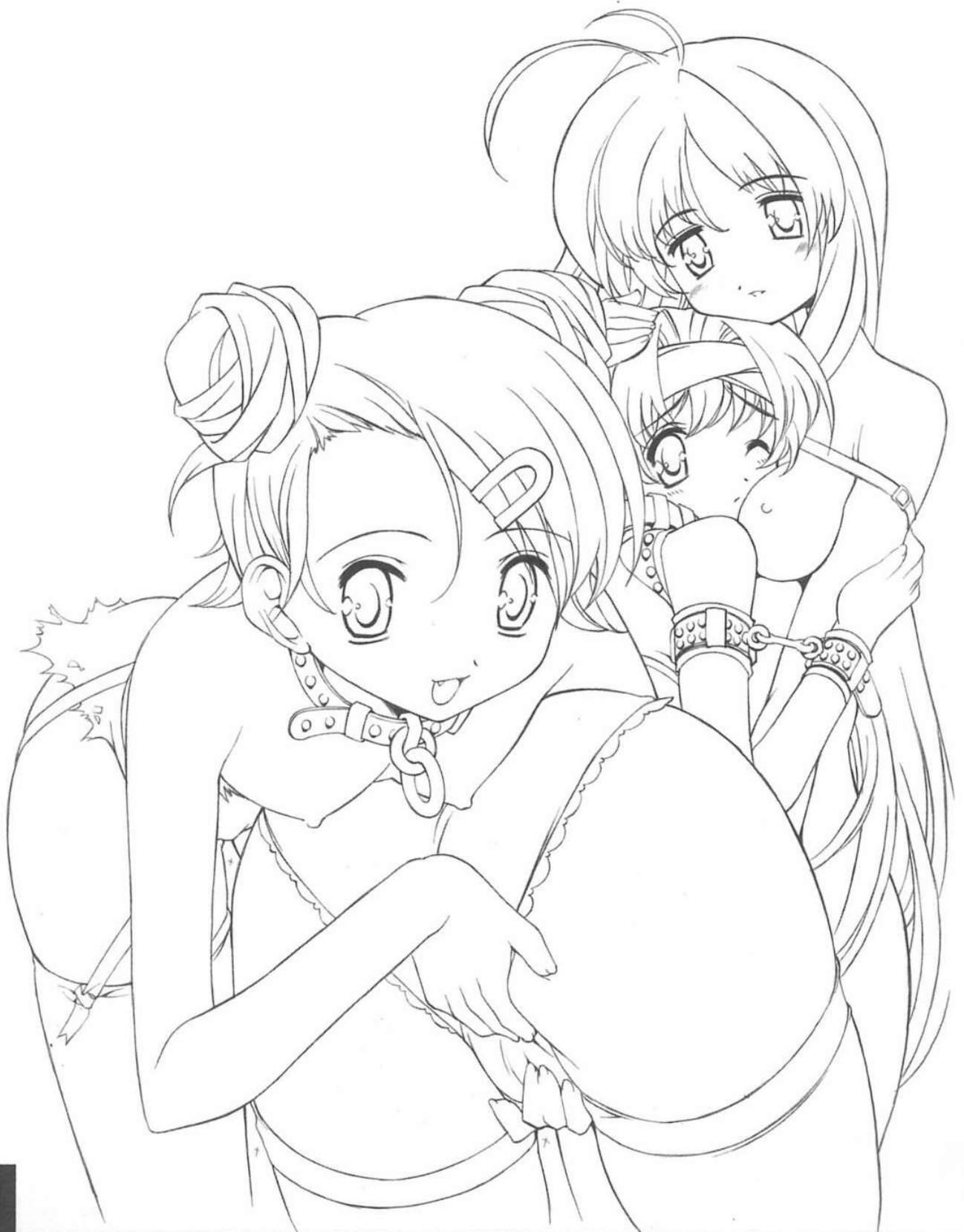
▼その所為かどうか、
最近ではすっかりプライベートな
エロ絵を描かなくなっちゃって…
もう、ダメダメ。
普通描くよね？プライベートなエロ絵。

いっしょ
おんあひの
おねだき。

▼こちらは表紙。魅力的じゃないとかアピールが弱いとか知り合いに散々叩かれました。

確かに、中途半端な感じは受けますね～。

この三人でフルカラーのエロエロ漫画を描くという夢もしましたが、所詮夢のお話でしたか… いつか実現できるといいのですが…



▼ちらケットで出したコピー誌の表紙です。
知り合いにこの絵を見せたら、
江森さんの描く「ちら」は「ちら」じゃなく「モロ」ですね、
と言われました。確かにそうですね。
わたくし「パンモロ」と「パンチラ」の区別も
出来ないほどの未熟モノだということを思い知らされました。
「パンモロ」は「パンモロ」でしかないが、
「パンチラ」には萌えの真髄に通ずる何かがありそうです。
自分もまだまだ修行が足りない事を
実感した絵でもあります。
これ以降なるべくパンツの量は
減らそうと努力している次第です、はい。



いっしょ
おんあふの
お絵かき。

▼同じくちらケットでの
コピー誌の内容。
う〜む「ちら」ですら
なくなっている様な気が…
個人的には「ぶらチラ」
とかに萌えるタイプです、自分。

▼話は全然違うのですが、
ソニンさんのソロCDの
ジャケット、
あの裸エプロンには久々に
グッときました。
田村英理子以来の衝撃です。

▼ここは、使いまわしの極致、
以前の本からの流用です。
この時期使いまわしを多用すると、
ちと叩かれるかな？
いえいえ、こちらのハナシ。



▼源之助さんの眼鏡っ娘本の中身のラフです。
本当、売り物レベルに達してないのは自分でもわかってはいるのですが、ラフや筆画が上手くなるためには、とにかく描かなきゃいけないと思いながら描いてました。自分はやはりペン入れてなんぼだったのですが、最近ではタブレット直描きでも描ける人が増えてきて、驚愕するばかりです。

いっしょ
おんがの
お絵かき。

いとしな おんあいの お絵かき。

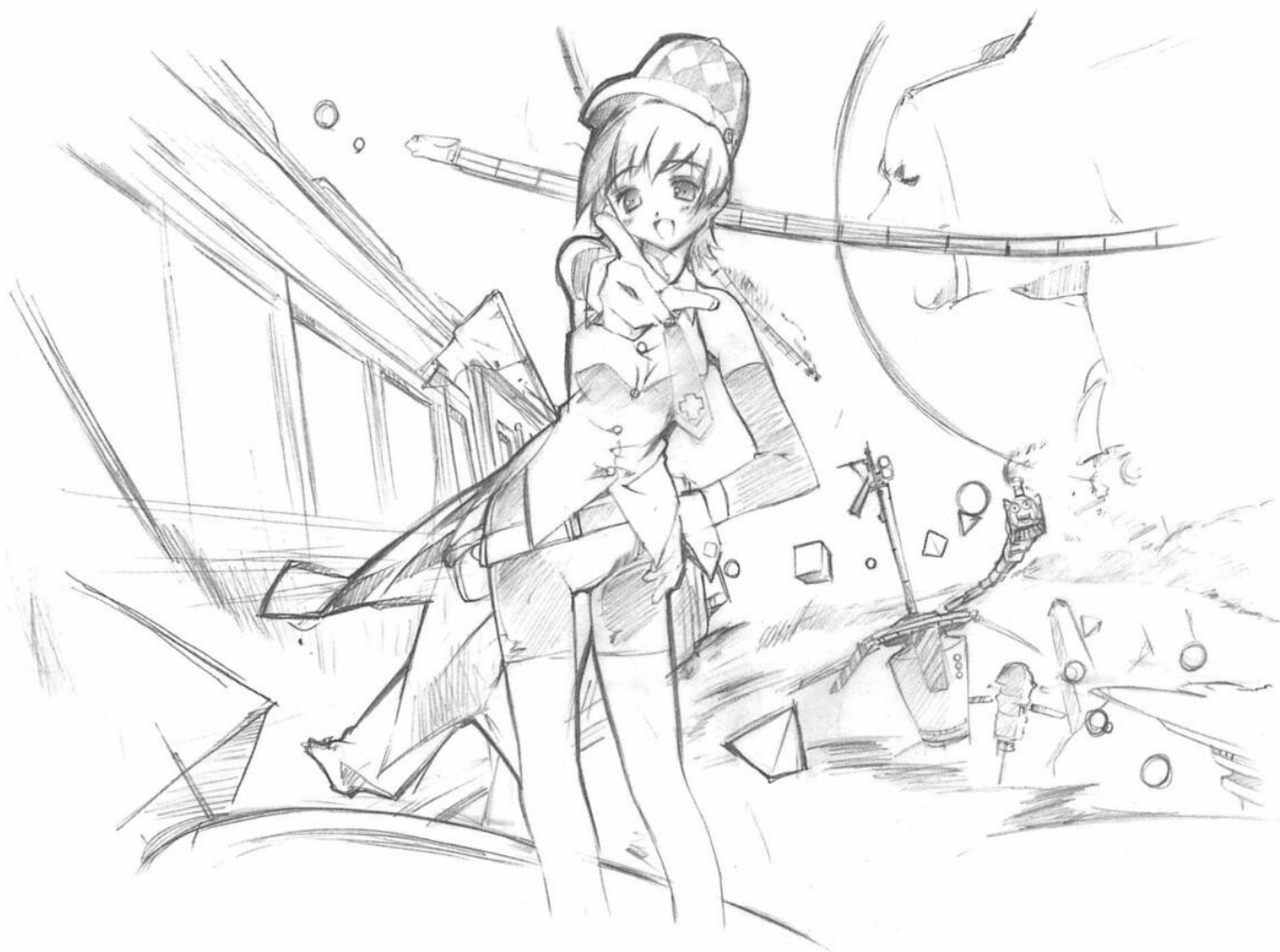
▼ヒッキーの「traveling」のPVがMTVで流れている頃に描いた落書きです。

最近ヒッキーのPVを撮っている紀里谷という人は、映像のセンスとかは古臭いとは思いますが、作りこまれた装飾過多の画面には惹かれるものがありますね。

どこかで、ピアズリーとかの話をしてたんで、妙に納得した覚えがあります。

自分も以前アール・ヌーヴォー風未来世界を舞台にした漫画を描こうとしたこともあり、

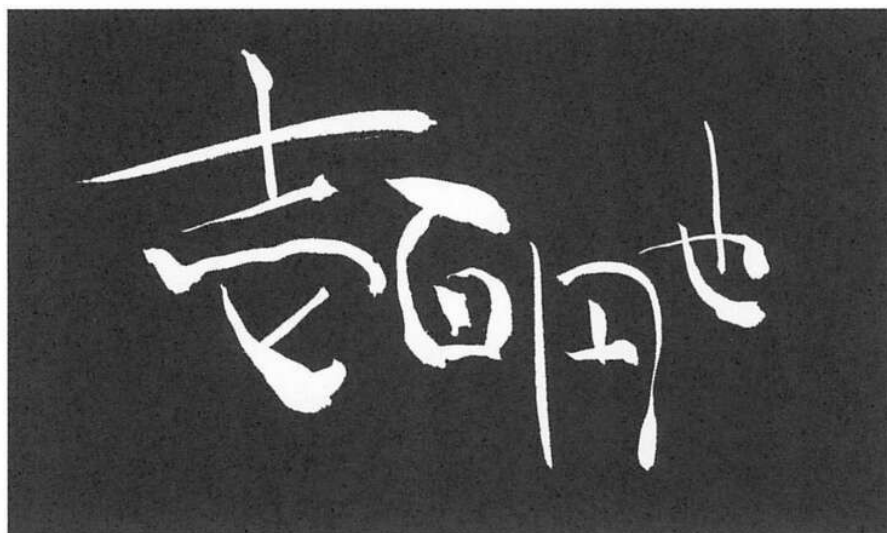
この手の映像にはとにかく弱いのかも…



▼と言いつつ、この絵はこの絵で大した魅力の無い絵になってますね。この辺りが才能の差ってやつなんだろうなあ…にんともかんとも。

100

▼徒然なるままに、駄文を書いてきましたがこの本もそろそろ終わりです。
2002 年前半は（特に夏直前は）H（アッシュ）がらみでほとんど他の創作活動ができませんでした。
かと言って暇になればなっただ、家では寝てるかゲームだったりするし、
平日は多分もう使えないだろうと思うし…
なかなか仕事以外で絵を描く機会がありませんが、
気合入れてモノを作っていきたいと思う今日この頃です。
やりたい事は沢山あるし、
漫画もこの編集作業中に2つ程ネタを思いついたし、
CGも上手になりたいし、筆画のレベルも上げたい。
タブレット直描きもできるようになりたいし、
同人ゲームなんかも作ってみたい。
ホント時間欲すいですね。
まあ、きっとみなさんも一緒なんだろうけど…
次に向かって頑張りたいものです。（まとめすぎか）



題字：なかくぼさとし

著者：江森美沙樹

<http://www.remus.dti.ne.jp/~emori/>
emori@remus.dti.ne.jp